

今日のトピック 上海と香港株式市場の相互接続と市場の動き 相互接続の開始を正式発表、市場は好感

ポイント1 11月17日からの開始を発表

外国人の上海市場へのアクセス改善

■10日、中国証券監督管理委員会と香港証券先物取引委員会は、共同声明で11月17日から上海と香港株式市場の相互株式取引「滬港通(ここうつう)」(以下、相互接続)を開始すると正式に発表しました。

■17日以降、外国人は香港で上海に上場する568銘柄を取引できるようになり、中国本土の投資家は上海で香港に上場する266銘柄が取引できるようになります。

ポイント2 両市場の株価は上昇

相互接続の開始を好感

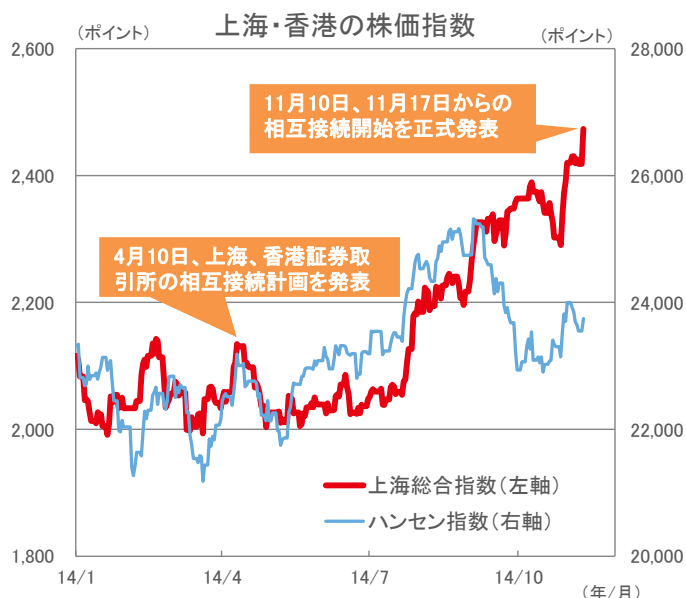
■香港株式市場では、10日の取引前の相互接続の発表を受け、ハンセン指数は取引開始直後から上昇し、終値は前日比+0.83%高となりました。

■同様に上海総合指数も上昇し、終値は前日比+2.30%の2,473.7ポイントと、2012年3月以来の高値となりました。

相互接続の主な内容(11月10日発表)

11月17日から香港と上海証券取引所の相互株式取引を開始
海外投資家(含個人)は香港で上海の上場銘柄を取引可能に
中国本土の投資家は上海で香港の上場銘柄を取引可能に
香港から上海への投資は1日あたり130億元、上海取引所から香港市場への投資は同105億元の上限を設定

(出所)香港証券先物取引委員会の公表資料などを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注)データの期間は2014年1月1日～2014年11月10日。

(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 相互接続の開始や企業業績の拡大に支えられ両市場とも堅調に推移

■上海と香港の株式市場は、今回の相互接続の開始により取引の活性化が見込まれます。香港の証券取引所では金融派生商品など新たな取引の導入も計画されていることも、今後の株式市場活性化の要因として見込まれます。1日当たりの取引上限額が設定され、効果は限定的との見方はあるものの、今後取引額の上限が引き上げられるかが注目されます。

■短期的に上海市場の株価にやや過熱感が見られるため当面は一進一退となることも想定されます。一方で、今回の相互接続の開始に加えて中国政府による景気刺激策が引き続き企業業績を支え、株価の調整が一巡すれば、両市場とも堅調な推移と見込まれます。

ここもチェック!

2014年10月29日【デイリー No.1,978】最近の指標から見る中国経済(2014年10月)
2014年08月06日【デイリー No.1,929】中国株式市場の動向について

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。